

平成 22 年度 専攻科 特別研究審査発表会
機械・環境システム工学専攻(MC)

[日 時] 2011 年 1 月 28 日 (金) 12:50~17:10

[場 所] アカデミックホール

[内 容]

◇主任挨拶 (12:50~13:00) 伊東 徳

◇第 I 部 (13:00~15:00) : 機械・環境システム工学専攻

. 座長 : 一宮 一夫

- | | | |
|---------|-------|---|
| AMC0901 | 安部 達朗 | 「ドライホブ切り歯車加工時の切り粉挙動、切削力および歯車精度」 |
| AMC0902 | 有田 大貴 | 「電線類地中化の効果と市民の意識構造」 |
| AMC0903 | 一丸 結夢 | 「河床変動理論に基づく複雑的立体形状の生成」 |
| AMC0904 | 伊藤 寿宏 | 「生物学的排水処理法を応用した二枚貝 (アサリ) の循環式飼育水槽に関する実験的検討」 |
| AMC0905 | 江田 拓朗 | 「塩素酸塩類含有排水の生態毒性評価と毒性低減方法の検討」 |
| AMC0906 | 幸野 圭祐 | 「都市公園の有料化に関する大分市民の意識について」 |
| AMC0907 | 古屋 純平 | 「チタン合金の組織と疲労強度の関係」 |
| AMC0908 | 佐藤 浩平 | 「周期的変動風下での風レンズ風車性能に関する研究」 |
| AMC0909 | 首藤 喬 | 「知的画像処理手法を用いた胸部大動脈瘤領域の自動抽出」 |

〈休憩 10 分〉

. 座長 : 伊東 徳

◇第 II 部 (15:10~17:00)

- | | | |
|---------|-------|---|
| AMC0910 | 首藤 法子 | 「我が国の気温上昇や気候変動に及ぼす地球温暖化と都市化の影響」 |
| AMC0911 | 染矢 拓範 | 「アクティブ制御乱流風洞を用いた自然風下における風力タービンの性能評価に関する研究」 |
| AMC0912 | 竹尾 恭平 | 「面外荷重を受ける周面単純支持された傾斜機能平板の三次元応力解析に関する研究」 |
| AMC0913 | 林 幸一郎 | 「単一パルスデトネーションエンジンの高推力化に関する研究」 |
| AMC0914 | 松本 知晃 | 「三質量衝突振動系の応答解析」 |
| AMC0915 | 油布 健二 | 「他者の鉗子操作を模倣することによる技術習得に関する研究」 |
| AMC0916 | 横田 尚之 | 「はりの共振を利用したアーム駆動系の開発」 |
| AMC0917 | 吉村 和晃 | 「水素を固溶した V-W 及び V-Mo 合金の機械的性質の評価と AE その場膜破壊検出システムの構築」 |

◇講評 (17:00~17:10) 校長 大城 桂作

※発表要領

- ・ 各自の持ち時間 発表 7 分、質疑応答 5 分+交替時間 1 分 計 13 分
- ・ 第 1 鈴 : 発表終了 2 分前、第 2 鈴 : 発表終了、第 3 鈴 : 質疑応答終了
- ・ 発表者はスーツ着用、セッション開始 10 分前には準備完了のこと、
- ・ 次の発表者は座長席近くに待機

(上記の予定時刻は、多少前後することがあります.)

平成 22 年度 専攻科 特別研究審査発表会
電気電子情報工学専攻(ES)

[日 時] 2011 年 1 月 28 日 (金) 12:50~15:40

[場 所] 総合メディア教室 (図書館 2 階)

[内 容]

◇専攻科主任挨拶 (12:50~13:00) 鶴沢 偉伸

◇発表プログラム (13:00~15:30) : 電気電子情報工学専攻

. 座長 : 高橋 徹

- | | | |
|---------|-------|---------------------------------------|
| AES0901 | 伊藤 孝史 | 「非一様な出現確率を持つ入力信号に対する自己組織化マップの写像」 |
| AES0902 | 井上 悠平 | 「室内移動ロボットの環境認識」 |
| AES0903 | 伊延 詩織 | 「プッシュ型 e-Learning の開発とオープンソース化への取り組み」 |
| AES0904 | 川野 竜輔 | 「生体の免疫応答を模倣した多値免疫的ネットワークとその応用」 |
| AES0905 | 木津 昂明 | 「コヒーレント光を用いて観測された劣化観測像からの原像回復法の開発」 |

〈休憩 15 分〉

. 座長 : 鶴沢 偉伸

- | | | |
|---------|-------|-----------------------------------|
| AES0906 | 木付 勇仁 | 「遺伝的アルゴリズムを用いたスケジューリング問題の解決とその応用」 |
| AES0907 | 鈴木 恒晴 | 「DP マッチング法を用いた音声認識」 |
| AES0908 | 竹本 幸平 | 「既存メールシステムを活用した効果的なシステムの研究」 |
| AES0909 | 渡邊 一光 | 「可飽和トランスを用いたパルスパワー電源の開発」 |

◇講評 (15:30~15:40) 校長 大城 桂作

※発表要領

- ・ 各自の持ち時間 発表 7 分、質疑応答 5 分+交替時間 1 分 計 13 分
- ・ 第 1 鈴 : 発表終了 2 分前、第 2 鈴 : 発表終了、第 3 鈴 : 質疑応答終了
- ・ 発表者はスーツ着用、セッション開始 10 分前には準備完了のこと。
- ・ 次の発表者は座長席近くに待機
 (上記の予定時刻は、多少前後することがあります。)